

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第15週の発生動向

### 全数報告の感染症 (15週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：E 型肝炎 1 例。  
5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、百日咳 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等	
2類	結核	宮崎市	50 歳代	男	無症状病原体保有者	—	
			80 歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難	
		都城	90 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱	
		日向	20 歳代	女	無症状病原体保有者	—	
4類	E型肝炎	日向	50 歳代	男	—	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常	
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	60 歳代	男	—	ショック、DIC、中枢神経症状	
			70 歳代	男	—	発熱、肺炎、菌血症	
	百日咳	宮崎市	40 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み	
			50 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ、嘔吐	
			高鍋	10 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			日向	10 歳代	女	—	持続する咳

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 833 人(定点当たり 24.5)で、前週比 124%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎(ロタウイルス)である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

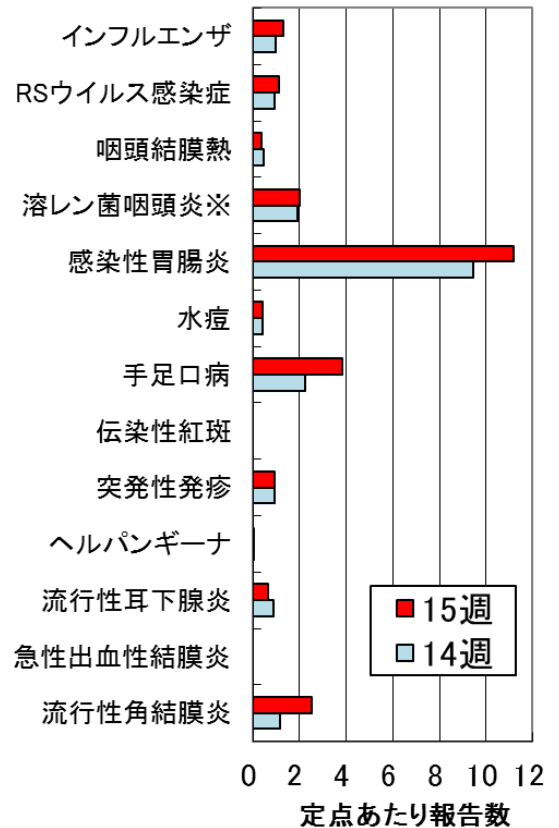
##### 【RSウイルス感染症】

報告数は 40 人(1.1)で、前週比 118%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.60)の約 1.9 倍である。日向(3.8)、延岡(1.3)、宮崎市、都城(1.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳以下がほぼ全体の約 9 割を占めている。

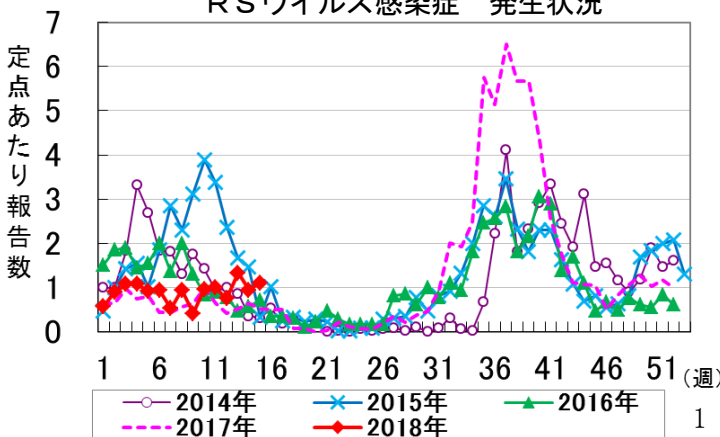
##### 【手足口病】

報告数は 138 人(3.8)で、前週比 170%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(1.1)の約 3.7 倍である。中央(15.0)、延岡(6.0)、宮崎市(5.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1~2 歳が全体の約 7 割を占めている。

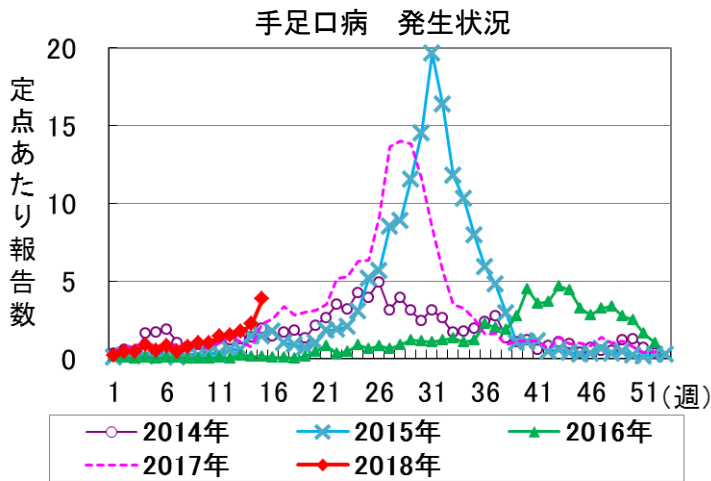
### 《前週との比較》



RSウイルス感染症 発生状況



\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



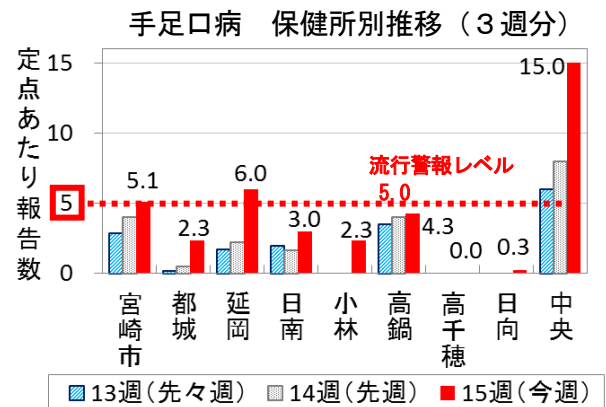
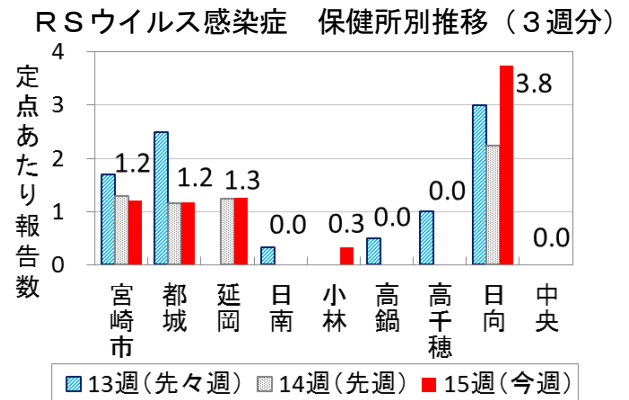
★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

日向保健所から 1 例報告があった。0~4 歳で、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(5.1)
都城	なし
延岡	手足口病(6.0)
日南	流行性耳下腺炎(6.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(12.0)、 手足口病(15.0)



\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

## 全国 2018 年第 14 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (全国第 14 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	333 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	21 例	腸チフス	1 例
	E型肝炎	9 例	A型肝炎	12 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
4類感染症	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	20 例
	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
5類感染症	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	52 例	水痘 (入院例)	5 例
	梅毒	71 例	播種性クリプトコックス症	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	62 例	風しん	1 例	麻しん	16 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 87%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

RSウイルス感染症の報告数は 1,001 人(0.32)で前週比 89%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.20)の約 1.6 倍である。沖縄県(1.5)、宮崎県(0.94)、愛媛県(0.84)からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めている。\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

## 月報告対象疾患の発生動向 <2018年3月>

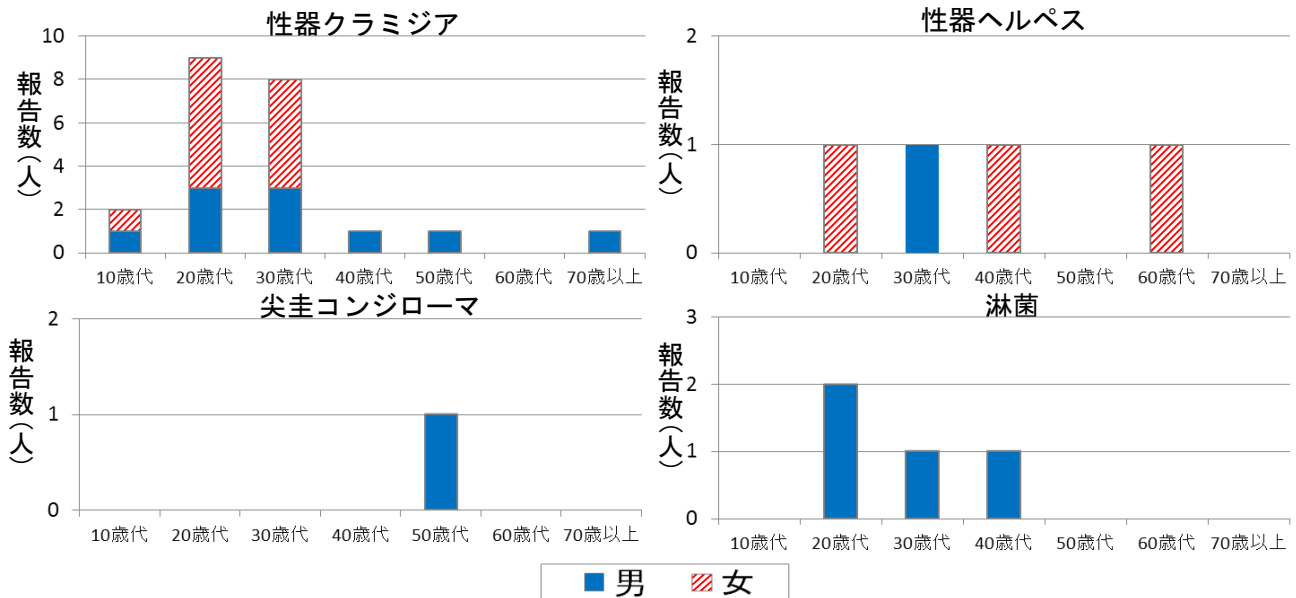
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人(2.4)で、前月比135%と増加した。また、昨年3月(2.2)の111%である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月の約1.6倍、昨年3月の約1.2倍である。  
20～30歳代が全体の約8割を占めている。(男性10人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.7倍、昨年3月と同率である。  
(男性1人・女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年3月と同率である。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の2.0倍、昨年3月と同率である。(男性4人)



【全国】 定点医療機関総数：981

定点医療機関からの報告総数は3,896人(4.0)で、前月比113%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,039人(2.1)で前月比111%、性器ヘルペスウイルス感染症760人(0.77)で前月比110%、尖圭コンジローマ444人(0.45)で前月比118%、淋菌感染症653人(0.67)で前月比122%である。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月と同率である。また、昨年3月(3.7)の69%である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月の1.1倍、昨年3月の約0.7倍である。70歳以上が全体の6割以上を占めている。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月の約0.3倍である。  
(昨年3月報告なし)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：477

定点医療機関からの報告総数は1,564人(3.3)で、前月比105%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,399人(2.9)で前月比106%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症153人(0.32)で前月比97%、薬剤耐性緑膿菌感染症12人(0.03)で前月比150%である。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第15週(04月09日～04月15日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	58	78	43	8	12	1	10	2		1	1
	定点あたり	0.98	1.32	2.69	0.80	1.71	0.20	2.00	0.33	0.00	0.17	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	34	40	12	7	5		1			15	
	定点あたり	0.94	1.11	1.20	1.17	1.25	0.00	0.33	0.00	0.00	3.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	16	13	4	2	1	3		1		1	1
	定点あたり	0.44	0.36	0.40	0.33	0.25	1.00	0.00	0.25	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	68	72	17	16	9	11		4		3	12
	定点あたり	1.89	2.00	1.70	2.67	2.25	3.67	0.00	1.00	0.00	0.75	12.00
感染性胃腸炎	報告数	341	403	96	79	12	40	58	63	10	29	16
	定点あたり	9.47	11.19	9.60	13.17	3.00	13.33	19.33	15.75	10.00	7.25	16.00
水痘	報告数	15	15	3	3	1	1	5			2	
	定点あたり	0.42	0.42	0.30	0.50	0.25	0.33	1.67	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	81	138	51	14	24	9	7	17		1	15
	定点あたり	2.25	3.83	5.10	2.33	6.00	3.00	2.33	4.25	0.00	0.25	15.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	33	10	8	3	6	4	1		1	
	定点あたり	0.92	0.92	1.00	1.33	0.75	2.00	1.33	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1			1						
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	31	24	1	1	1	19	2				
	定点あたり	0.86	0.67	0.10	0.17	0.25	6.33	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	15	12		3						
	定点あたり	1.17	2.50	4.00	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	3	1								1	
	定点あたり	0.43	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～15週)

2類感染症	結核	58例(4)				
4類感染症	E型肝炎	3例(1)	A型肝炎	17例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	1例	レジオネラ症	2例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例(1)	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	18例(1)	梅毒	1例
	播種性クリプトコックス症	1例	百日咳	39例(4)		

( )内は今週届出分、再掲